

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク 拠出金	担当部局庁	水・大気環境局	作成責任者										
事業開始・終了 (予定) 年度	平成14年度	担当課室	大気環境課	大気環境課長 山本光昭										
会計区分	一般会計	施策名	3-1 大気環境の保全（酸性雨・黄砂対策を含む）											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの強化のため の文書(平成22年11月23日署名)」 「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの実施に関す る共同声明(平成12年10月26日)」											
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東アジア地域の酸性雨の状況に関して共通の理解を形成することなどを目的に、平成13年1月から本格稼働を開始している「東 アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」の活動を推進することにより、東アジア地域における酸性雨問題の現状と将来 について、参加各国間の共通の認識を醸成し、国際協調による東アジア地域全体の酸性雨対策の枠組みづくりを目指す。													
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠出するもの。 ＜EANETの概要＞ 東アジア地域における酸性雨問題に関する地域協力体制の確立を目的として、2001年1月から本格稼働。 参加国は13カ国。共通の手法を用いた酸性雨モニタリングを実施。また、データの収集・評価・保管、精度保証・精度管理活動 等も実施している。													
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他													
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求							
	予 算 の 状 況	当初予算	105	96	85	96	96							
		補正予算	0	0	0	0								
		繰越し等	0	0	0	0								
		計	105	96	85	96	96							
	執行額		105	96	85									
	執行率(%)		100	100	100									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)					
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものでは なく、EANET存続の基盤を保证するため参加 国の合意に基づき拠出を行うものであるため、 定量的な成果目標を示すことはできない。			成果実績	—	—	—	—	—					
				達成度	%	—	—	—						
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込					
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものでは なく、EANET存続の基盤を保证するため参加 国の合意に基づき拠出を行うものであるため、 定量的な活動指標を示すことはできない。			活動実績	—	—	—	—	—					
				(当初見込 み)				(—)	(—)					
単位当たり コスト	— (円／)			算出根拠	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の 基盤を保证するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるた め、定量的な単位当たりコストを示すことはできない。									
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費 目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由										
	経済開発協力機構等 拠出金	96	96											
	計	96	96											

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民の関心が高い越境大気汚染問題に対応するEANETについては、参加国の合意に基づき、国連分担率に応じた拠出を各国が行うべきこととされており、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
使途・資金の流れ・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	EANETの運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等、真に必要な事業にのみ支出されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	具体的な活動実績は、毎年開催されている政府間会合に報告されており、計画されている活動内容のほとんどが達成されている。また、EANETで得られたデータは高い品質が保証されており、各種学術論文でも引用されるなど、十分活用されている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	これまでの拠出により、EANET推進のための基盤（体制面、財政面）の強化に貢献している。EANETは東アジアにおける酸性雨問題に関する唯一の関係国政府間ネットワークであり、引き続き拠出を行う必要がある。 EANETの運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等を使用されており、具体的な支出内容については、毎年開催されている政府間会合に報告され、十分に使途を把握できる状況にある。 最新の国連分担率（日本：12.530%）を踏まえ、我が国の拠出を行うとともに、政府間会合等を通じて引き続き活動内容の進捗状況を随時把握し、活動への投入規模の見直し提案を行う等、効率的な運営が行われるよう求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き最低限の拠出となるよう検討を進めるとともに、拠出先での成果実績・活用実績の把握に努めていくべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	内容を精査し、必要最低限の要求としている。		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	022	平成23年行政事業レビュー	059

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を行
っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

環境省
85百万円

拠出金
【内容】
EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠
出。



【拠 出】

A. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANE
T)
85百万円

【活動概要】
・共通の手法を用いた酸性雨モニタリングの実施
・データの収集、評価、保管及び提供
・精度保証・精度管理(QA/QC)活動の推進
・参加国への技術支援と研修プログラムの実施
・調査研究、普及啓発活動の推進
・関係国際機関との情報交換

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金	85			
計		85	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東アジア酸性雨モニタ リングネットワーク (EANET)	EANET事務局運営経費、及びネットワークセンター運営経費	85		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					